

「令和6年度地域デジタル基盤活用推進事業(実証事業)」の実証視察会(徳島県那賀町)に参加

令和6年12月5日に徳島県那賀町で開催された、「令和6年度地域デジタル基盤活用推進事業(実証事業)」(*)の採択案件である「Wi-Fi HaLow、Starlinkを活用した林業機械の遠隔操作化および現場モニタリングの実証」(代表機関:古野電気株式会社)の実証視察会に四国総合通信局からも参加しました。

(*) 総務省では、地方公共団体等によるデジタル技術を活用した地域課題解決の取組を総合的に支援するため、令和5年度から「地域デジタル基盤活用推進事業」を実施しています。令和6年度の実証事業では四国管内からも4件の事業が採択されています。

視察概要

課題

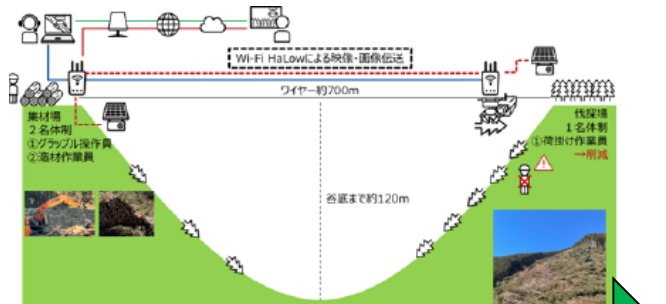
モバイルが圏外



現場の人員不足



危険な林業現場



実証事業

徳島県那賀町における基幹産業である林業において、遠隔操作化実現による**作業員の危険な作業行程の削減を実現**するため、**モバイル通信圏外においてWi-Fi HaLowやStarLinkを活用した架線式グラップルの遠隔操作及び現場モニタリングシステム**について実演を交えてご紹介いただきました。

成果

通信環境を整え
カメラ映像で
現場をモニタリング



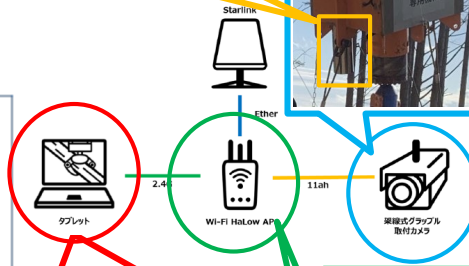
作業の効率化や
遠隔操作で
現場を省力化



遠隔操作による
現場の安全性の確保
負担軽減



架線式
グラップルに
取り付け
たカメラ



<遠隔操作の様子>

(実証事業の詳細は右記スライドの07 https://www.soumu.go.jp/main_content/000969014.pdf)



<伐採した木材を掴む「架線式グラップル」の説明>



<架線式グラップルの遠隔操作の実演>



<総務省(本省)からの講評>



モニタに映ったカメラの映像

【お問い合わせ先】 情報通信部
情報通信振興課(089-936-5061)